

2023年日本平和大会in鹿児島ニュースno.7



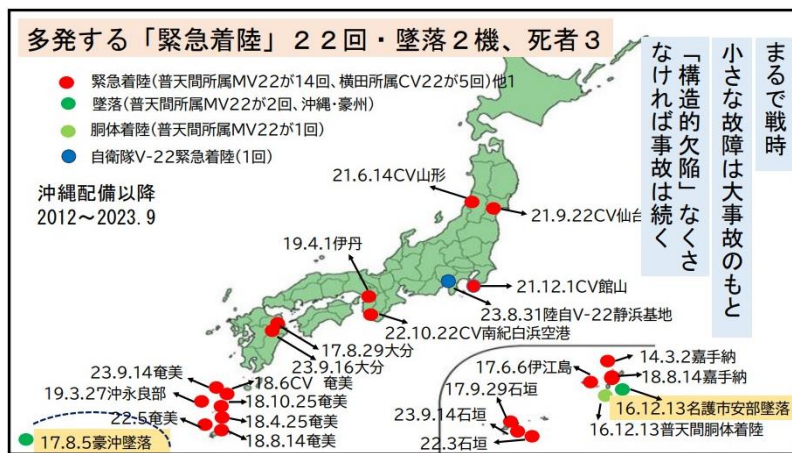
発行: 2023年日本平和大会実行委員会 (事務局: 日本平和委員会内) 2023/9/26
Tel 03 (3451) 6377 Fax 03 (3451) 6277 Email: info@j-peace.org

オスプレイ撤去の声と運動を大会へ!

8日間で6機緊急着陸 豪州では墜落、3人死亡

普天間基地所属の海兵隊オスプレイ MV22 が、14日に奄美空港に2機緊急着陸しました。同日新石垣空港にも2機。16日には大分空港に1機。21日には再び奄美空港に。米軍オスプレイの緊急着陸は14日以降8日間で計6機という異常事態です。先月27日にはオーストラリア北部で米軍オスプレイが墜落し、乗員が3人死亡しています。

平和大会成功に向けて九州各県から状況を報告し学習と交流を行っている平和委員会の九州ブロックオンライン連鎖学習会「佐賀遍」が22日に開催され、自衛隊オスプレイの拠点基地建設反対のたたかひの現状と決意を共有しました(写真上は、たたかひを報告したパワポの1面)。



全国的問題 学習会では、菅沼幹夫神奈川県平和委事務局次長がオスプレイの危険性を告発。沖縄に配備されて以降、緊急着陸が22回、墜落2機という実態を地図で示しました(左)。各地で飛行が確認され、各地で緊急着陸しており、全国的な問題であることが改めて強調されました。平和大会1日目夕方の「つどい⑧オスプレイ深堀り」でも菅沼さんが報告します。

長崎 憲法共同センターと平和委共催で学習会

長崎県では、県憲法共同センターが24日、ながさき平和委員会と共催で、学習会「岸田大軍拡と長崎県内の基地強化」を開催。長崎を主会場(写真右)に、佐世保、大村をオンラインで結び、個人視聴6人を含めて68人が参加しました。

講師は富塚明日本平和委常任理事・ながさき平和委事務局長。富塚さんは、現在の軍事強化は米軍の対中戦略に沿ったものと指摘。佐世保の水陸機動団が、今年初めて日本で実戦的な共同訓練を行い、長崎港で大量建造が始まっている「もがみ型護衛艦」に長射程ミサイルが搭載されることなど、県内で進行している日米軍事一体化・強化について、写真や動画を駆使しながら報告しました。参加者からは「米軍と自衛隊の現状と一体化がリアルに分かった」「すぐにでも戦争に巻き込まれる可能性があることにゾッとした」「内容を少しでもまわりに広げようと思います」などの感想が寄せられました。(長崎発)

